

**製品名: KIT マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82753**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:25-1:100
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KIT
別名	PBT; SCFR; C-Kit; CD117; MASTC
遺伝子 ID	3815.0
SwissProt ID	P10721
免疫原	大腸菌で発現したヒト KIT (AA: 23-322) の精製された組み換え断片。

**背景**

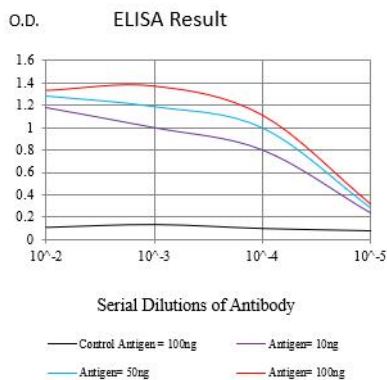
この遺伝子は受容体チロシンキナーゼをコードしています。この遺伝子は当初、ネコ肉腫ウイルスの癌遺伝子 v-kit のホモログとして同定され、しばしばプロトオンコゲン c-Kit と呼ばれています。この糖鎖膜貫通タンパク質の標準的な形態は、5つの免疫グロブリン

様ドメインを含む N 末端細胞外領域、膜貫通領域、および C 末端の細胞内チロシンキナーゼドメインを有しています。このタンパク質は、サイトカインリガンドである幹細胞因子 (SCF) によって活性化されると、多くの細胞型の増殖、分化、遊走、アポトーシスに関与する複数の細胞内タンパク質をリン酸化します。これにより、造血、幹細胞の維持、配偶子形成、メラニン形成、および肥満細胞の発達、遊走、機能において重要な役割を果たします。このタンパク質は膜結合型または可溶性タンパク質です。この遺伝子の変異は、消化管間質腫瘍、肥満細胞疾患、急性骨髄性白血病、およびまだら症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

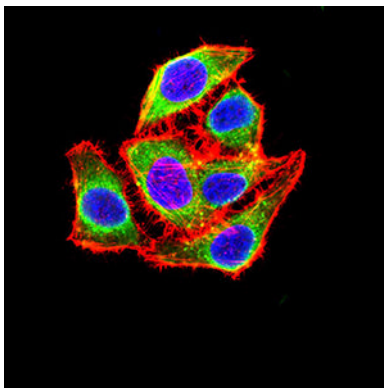
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

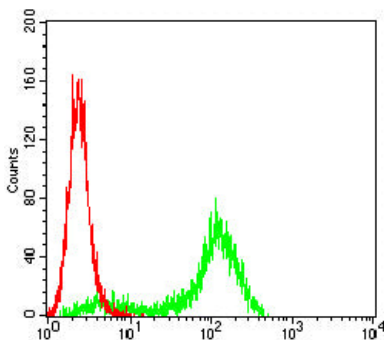
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



KIT マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



KIT マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。